

実録

会社の社員イズメ

テストを強制で

- ・受験費用は会社持ちで、社員全員がある資格試験を強制的に受けさせられた。不合格になったら受験料を会社に返せという(大手通信業)
- ・会社が社員に宅地建物取引主任者試験を受けさせ、不合格の場合は罰金を取る。その金で社内の飲み会を開く(不動産会社)

休めない

- ・インフルエンザにかかったので休みを申請すると「病欠扱いにするから会社には来な。家でいつも通り仕事しろ。営業には行け」と命令された(中堅メーカー)
- ・有給休暇の取得手続きが相当面倒。5人以上の上司と社長の許可が必要で、なかなか通らない。結局うやむやにされることもあるから誰も申請しなくなった(大手製造業)

ブラックかも!?

- ・ここ5年、給料が下がり続けているし、待遇も悪くなっているので会社側と交渉を持った。そうしたら「ウチは暴力団と関係がある」と脅された(零細企業)
- ・役員が社員本人の預金内容を勝手に調査し、私用のお金の使い道にまで口を出してくるようになった(信用金庫)
- ・顧客に無断で勝手に契約書をねつ造し、所長に命令されている。抵抗すると罵倒され、脅された。家庭があるのでクビになるわけにはいかないが、違法行為に手を染めるのは…(生命保険)
- ・社長が変なセミナーに通いはじめ、毎日、社員に説法をやりだした。欠席するとパートに降格させられる(零細企業)

こんな掲示板あったら
思わず見ちゃうよなあ…

「ホンマかいな?」「信じられん」と思ってくれる人が多いことを祈るが、そうでもないという。以下に並べたのは、ニッポンで働く中高年サラリーマンが会社から受けたひどい仕打ちの数々。この1年、実際にあった例だ。今は中高年社員がいじめられる時代なのである。

ノルマがキツイ

- ・震災後、会社の経営が悪化し、「売り上げ目標に達しないとクビだ!」という方針になった。その目標が異常に高い数字なので現実的には無理。おかげで昨年夏から自腹で商品を買うことになっている(毎月10万円)。何とか正社員の立場を守りたいのだが、そろそろ限界(メーカー)
- ・新規会員獲得のノルマを達成しないと減給で賃金ゼロになることも。何とか頼み込んで会員になってもらった知人や友人が解約した場合でもペナルティーとして10万円請求される(冠婚葬祭会社)

自腹でアラサー...

- ・会社の業績悪化のせいで配達車のガソリン代が自腹になった(配送業)
- ・賞味期限切れのケーキを無理やり買わされるようになった(ケーキ工場)
- ・工場の機械が故障して不良品が出た。会社から「お前のせいだ」と修理費を請求されて断ると、残業代をカットされ、休日出勤を強いられた(製造業)
- ・店の景品と現金が盗まれた。店長に「犯人を必ず見つけろ」と言われたが結局見つからない。弁償させられた(パチンコ店)

※「労働相談センター」と本紙取材班調べ

オレはマシな方かも

やりたい放題の中小企業

「派遣社員や契約社員、アルバイトなどの非正規雇用者の立場が弱いことが近年、問題になっていますが、正社員に関する労働問題もかなり増えています」

こう語るのはNPO法人「労働相談センター」の須田光昭副理事長。特に、昨年3月の東日本大震災後が顕著だという。今回挙げた例のように、業績が悪化した会社が正社員に無理難題を押し付けたり、賃金カットを迫るケースが目につく。「家族がいるから辞めるわけにはいかない」「どんな要求ものまざるを得ないはず」という会社側の愚感が働いているケースが多い。

「特にひどいのが人を減らしたいと考えている中小企業。給料が高い中高年を狙い撃ちしてきます。不当な要求や指示、陰湿ないじめで辞めさせようと仕向ける。ハッキリ言ってやりたい放題です」

生活できないような給料を受け入れるか会社を辞めるか。いじめに耐えるか会社を辞めるか。突きつけられるのは「オレ」を選んでも地獄の二者択一。中高年の再就職は簡単ではないので、結局、ガマンせざるを得ない場合が多い。家族を守るためには仕方のないことなのか…。

「そんなことはありません。就業規則等の関係もありますが、調べてみれば違法性が明確なものもあります。すなわち、闘うこともできます。あきらめず、我々のような組織や労組などに相談してください」

一人で悩まないのが第一。あきらめるのは早い。

